

第100回二科展 巡回展（大阪展）



▲大阪市立美術館

■ 二科巡回大阪展は10月27日～11月8日まで大阪天王寺公園内の大阪市立美術館で開催しました。

出品数は絵画206点、彫刻16点、デザイン185点、写真223点の総数630点の展示。

■ 幸運な事に、「伝説の洋画家たち 二科100年展」（大阪展）9月12日～11月1日と前半の開催が重なり、過去から現在までの二科を同じ美術館で鑑賞してもらえる貴重な機会に恵まれました。

■ 先立つ「伝説の洋画家たち」展では、田中理事長をはじめ、伊庭常務理事、彫刻部、吉野常務理事、小田理事による記念講演が行われましたが、二科巡回展が始まってからは、尾崎支部長をはじめ、絵画部会員、彫刻部会員による見どころトークを「伝説の洋画家たち」の会場で毎日開催。二つの展覧会の一体感を生み、より盛り上がりました。



▲二科一色となった大阪市立美術館

■11月3日の文化の日には、恒例のロビーコンサートを開催し、音楽とアートによる世界で会場を包みました。家族三世代でアートに親んでもらえる、第64回こども二科をはじめ、二科を目指す方々へのワンポイントアドバイスも、例年通り開催。これらのイベントや、「伝説の洋画家たち」展との相乗効果もあって、高い反響と前年度を上回る来場者(16194人)を得ることができました。(絵画部会員 高畑 彰)

▼ 絵画部展示会場▼



会期中に開催された
▼ミニ・コンサート風景



▲巡回展と同時開催された
こども二科展示会場



▲出品希望者のための
ワンポイントアドバイス風景

■彫刻部は、展示点数16点（大阪関係6点／会員2・会友3・一般1・全国巡回作品10点）でした。

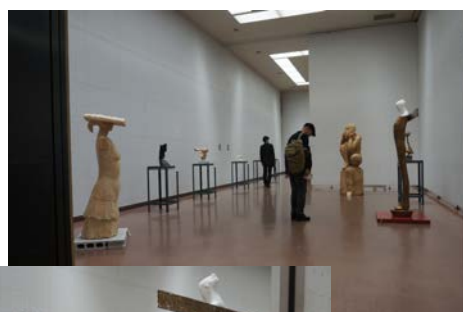
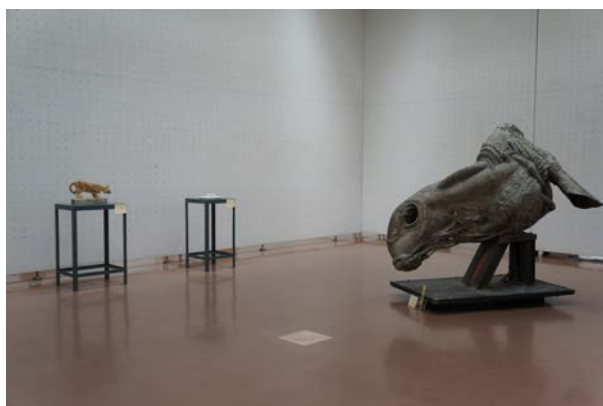
1点1点の作品のスペースがゆったり確保できた会場構成で、ゆっくり鑑賞していただけたと思います。

注目は、会友 本多紀朗・吉田朋世の二人の若い作家。本多は会友賞を受賞。「貫馬」は圧倒する野性的な存在感が魅力。吉田の「La mer」は伸び盛りのエネルギーを感じます。彫刻部の悩みの種は、新しい出品者（若手）が増えない事です。現在のメンバーで、作品のさらなる発展充実で鑑賞者を楽しませる事が課題です。大阪展は「こども二科展」が併催される影響で、親子で彫刻鑑賞という場面に遭遇します。熱心に鑑賞する姿は微笑ましいもので、声掛けしては彫刻のお話しをするよう心がけています。

今回は100回記念展と伝説の洋画家たち展が同時開催（6日間）で、現役と伝説の両方の作品を鑑賞できた事は、お客様はもちろん、私たちにも良き刺激でした。

（文責：彫刻部会員 橋本和明）

▼ 彫刻部展示会場▼



■デザイン部は本展において、デザイン部会員有志42名による二科展第100回記念のB3サイズポスターを制作。デザイン部のコーナーに展示しました。またその中から16点をB1サイズポスターに拡大して、絵画部の特設ブースに展示しました。大阪展では、第100回記念ポスターB3サイズのみをデザイン部会場ではなく、四部の会場通路壁面に一列にライトアップして展示しました。デザイン部の展示内容は例年と変わりなく、●A部門=自由テーマ・ポスター（B1）●B部門=自由テーマ・イラスト（B2）●C部門=特別テーマポスター・農林水産省・観光庁後援による「農林水産業と観光との連携」（B1）●D部門=マルチグラフィック（B2）の4部門で構成されており、毎年C部門のテーマが代わることになっています。展示数は全国巡回作155点（一般92点、会友20点、会員43点）と、関西地区出品作品52点（一般23点、会友13点、会員16点）の計207点を展示しました。

■今回第13回を迎える全国ポストカードデザイン大賞展をデザイン部会場にて併催しました。学生・一般合わせて毎年おおよそ2,000点の応募が有り、約200点が入選しました。一見二科展とは結びつかない感がありますが、デザイン部では比較的取り組みやすいポストカードを通じて、『二科展の会場に足を運んでもらい自身が雰囲気を実感して欲しい。描いたり、デザインしたりする喜びを感じとって欲しい。』との思いがあります。

二科大阪展の最終日には、ポストカードデザイン大賞展の表彰式を学生の部と一般の部に分けて行ない、式典には新しく入選・受賞作品を拡大映写してムードの盛り上げをはかりました。当日は父兄や関係者を伴って多数出席され、入選者・受賞者一人一人に入選状・賞状を手渡しました。表彰式終了後は、展示会場にてデザイン部会員5名がワンポイントアドバイスを行ないました。今年も多く参加者が有り、熱心に聴き、メモを取り、質問し、会場は熱気に溢れ好評を博しました。

（二科会デザイン部関西地区事務局／田野 勝）

▼ デザイン部展示会場▼





◀ デザイン部会場風景



ポストカードデザイン大賞展
ワンポイントアドバイス風景 ▶

■写真部は毎年224点の作品を展示しています。

全国から応募された18000点の中より選ばれた入賞作品を約50点と、関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山の入選作品、関西地区2府4県の会員会友作品、全国の会員会友の中から選出した作品などで構成しています。

内容としては、多種多様のモチーフがハイレベルに表現されており、ご観覧の皆様には喜んで頂けるものと自負しています。

尚、会期中の第1、第2の水曜日に会場内にてギャラリートークを行いますので、ぜひお越し下さるよう宜しくお願い申し上げます。

(担当 山本 博之)

▼ 写真部展示会場 ▼



会場内ギャラリートーク風景 ▶